

※教員からのコメントを抜粋して掲載しています。

## 学部

### 展開教育科目（旧生命）

◆科目名：畜産環境リスク管理学

教員名：小山 耕平

1. 授業担当回数：5回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

おおむね良好なアンケート結果だったと思いますが、来年はさらに改善していきたいと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）
4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

### 展開教育科目（家畜）

◆科目名：家畜生産科学実習 I

教員名：川島 千帆

1. 授業担当回数：11回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

積極的に且つ楽しんで能動的に授業を受けてくれたことが、アンケートからも授業態度からも伝わりました。そのような雰囲気です。授業が進められ、私も一緒に学ぶことが出来たことに感謝します。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

専門的な授業を受ける前ですので、各実習に入る前の説明（専門用語も含む）をより丁寧にするように心がけました。また、レポートの指示も間違った解釈をしないように昨年度よりも具体的に指示しました。授業態度やレポート内容から、こちらの意図がしっかり伝わったと感じます。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

この実習は2年目ですが、当初予定していた内容について施設整備や担当する教員の実験からまだ達成できていないことがあります。来年度には新たな内容を追加し、家畜についてより広い分野を網羅できるようにしたいと考えています。

◆科目名：家畜生産科学実習 I

教員名：古村 圭子

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

1) 大学の外での実習がもう少しあるといいと思う

→防疫的観点から、55名を受け入れてくれる施設がそれほど多くはなく、また2班にして2回も受け入れてくれることは相手先にさらに負担を強いて、大変難しい。大学内でできる実習にならざるを得ない。

2) 馬学実習の安全面、統率面を改善してほしい

→最大限安全に注意して、前年度は使用していなかった、プロテクターを学生1人ずつ装着できるよう購入したりして、実施している。これ以上クレームが来るの

であれば、乗馬実習は中止する。新年度全般的に見直したい。乗馬したいのであれば、十勝には多数の乗馬可能な施設が多数あるため、そこで乗ってほしい。大学では乗馬実習というよりは、大動物の馬の取扱いを実習で行う予定である。

**3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）**

今年度初めて担当したため、前年度の状況が判りません。

**4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）**

乗馬しない方向で、馬実習を行うことを考えています。

**◆科目名：家畜生産科学実習Ⅰ**

教員名：手塚 雅文

**1. 授業担当回数：2回**

**2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック**

数少ない羊を使った毛刈り実習でしたが、バリカンではなくハサミを使うことでより羊を身近に感じる事ができたかと思えます。

**3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）**

学生あたりの頭数、もしくは1回の実習あたりの人数が少ないとより効果は出るが、現状では難しい。動物のストレス等も考えるとあまり長いこと保定もできないので、少ない作業でより多くの内容を伝えら

れるような方法を考える必要がある。

**4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）**

**◆科目名：家畜生産科学実習Ⅱ**

教員名：川島 千帆

**1. 授業担当回数：6回**

**2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック**

今年度から始まった授業ですが、授業内でより多くの学生に興味を持ち習得してもらえるように、これまでの直腸検査回数を3倍にしたため、どのような反応が出るか不安でした。しかし、授業態度やアンケートから、有意義だったと考えてくれる学生が多く、このような設定をして良かったと感じています。

**3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）**

今年度が初めての授業ですが、学生の技術向上を目指し、牛を扱う前に屠場からの生殖器を用いて丁寧に構造を説明したり、超音波画像診断装置の見方などを解説したので、理解が早かったように思います。

**4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）**

実習に使用できる牛に限りはありますが、今年度の学生からもっとたくさんの牛を触りたいとの要望を聞いていますので、出来るだけ増やしたいと思えます。

**◆科目名：家畜生産科学実習Ⅱ**

教員名：古村 圭子

1. 授業担当回数：5回

## 2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

1) レポートの締切日が早い

翌週までに採点してレポートを返却するため、採点時間が必要であり、期日を伸ばすと、実習内容を忘れるため、実習実施2・3日後を期限とした。

2) 授業を受講していないので、内容が判らない

授業と実習はペアで学習すると効果があるよう、実習内容をカリキュラムとして設定している。

授業を受講しなかった学生がいることを想定して、実習前に少し説明を加えるようにする。

3) 実習スライドの色が多すぎて読みにくい

色を減らすよう工夫をしていきたい。学生から実習中に直接不明箇所は聞いて欲しい。

4) 実習に必要物

実習開始時に配布した予定表に記載されていますが、各担当教員が再度持参物を提示するようにする。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

1) 班分け

受講人数が増えたため、教員負担は増すが、少人数で実習が受講できるよう、1つの実習科目を2班に分けて受講できるようにした。

2) レポートを学生に返却する

実習内容を実習以外の酪農場や、資格取得時に有効活用してもらうため、採点後にコメントをつけて返却するようにしている。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

1) ユニット掲示板

実習予定表と実習持参物を掲示する予定

2) Moodle の利用

実習課題提出が Moodle で可能な実習課題は、利用を実施予定。

## ◆科目名：家畜生産科学実習Ⅱ

教員名：手塚 雅文

1. 授業担当回数：4回

## 2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

精子数の算出ができない人が非常に多かったのが残念です。基本的な単位（ml や ul）と体積（cm<sup>3</sup>, mm<sup>3</sup>）をもう一度良く復習しておく必要があると思います。あとは自分自身でよく考える習慣を付けることが重要です。1つの班の回答がすべて間違っているというのは問題です。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

## ◆科目名：家畜生産科学実習Ⅲ

教員名：木田 克弥

1. 授業担当回数：4回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

酪農現場ですぐに役立つ技術を中心に、実習を組み立てました（BCS,RFS、周産期管理など）。

皆さん、熱心に取り組まれていたと感じました。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

新規開講科目につき、特になし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

BCS、RFSなどの答え合わせの時間をしっかりとるようにします。

◆科目名：草地飼料学

教員名：花田 正明

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

講義資料および授業で使用するパワーポイントのファイルを1週間で消さないでほしいとありましたので、来年度は授業の前後1週間掲示するようにします。ただ、これらは予習の目的で掲載していますので、講義前に必ず目を通すようにしてください。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

講義資料および授業で使用するパワーポイントのファイルを講義の1週間前にポ

ータルサイトに掲載した。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

講義資料および授業で使用するパワーポイントのファイルを1週間で消さないでほしいとあったので、来年度は授業の前後1週間掲示する。

◆科目名：乳生産科学

教員名：古村 圭子

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

1) スライドの順番とプリントの順番が違う

図表など大きくしないと見えないものをスライドの順番とは違うプリントスペースに入れたため、

若干変わったが、教科書を参照すれば判ると思います。

2) 情報が多すぎる

基礎知識のある学生、1年次の家畜家禽論受講済み者には、ステップアップ授業のため、

詳しく説明した。さらに理解するため教科書を利用して予習復習を希望する。

3) 空欄を書く時間が足りない

時間を見計って「書けましたか」と時々問うていて、書けていないという学生がいなかった時は、次のスライドへ進めた。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

い)

1) スライドの色が多色過ぎて、どこが重要が判らない

ユニバーサル、色弱、色盲の学生を考えて、緑いろの使用を極力避けた。また1スライドで使用する色を黒の文字を主とし、書き込むところを赤字、注意する点を青字とした。

2) 内容が多すぎる

スライド枚数を減らし、話すスピードもゆっくりとした。重要なキーワードを繰り返し話した。

3) 話す速度が速い

ゆっくり話すことを心がけた

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

一昨年から Moodle を活用しているが、小テストだけでなく、さらに予習や復習できるように工夫したい。

◆科目名：家畜管理学Ⅱ

教員名：瀬尾 哲也

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

畜産現場に興味を持ってもらえるように、将来生産者や指導者になった場合に役立つように、多くの映像を使って説明するようにします。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記

入ください）

展開教育科目（生態）

◆科目名：環境生態学実習Ⅰ

教員名：小山 耕平

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

今回、新ユニットでの初めての森林調査実習のため、スムーズに進まない場面も多く、学生に色々と負担を掛けてしまいました。来年度から改善していきたいと思えます。小山耕平

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：環境生態学実習Ⅰ

教員名：橋本 靖

1. 授業担当回数：2回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

担当教員間の内容等のばらつきについては、根本的に問題とは考えておりませんが、今後、教員同士の話し合いなどを行って、議論等を行いたいと思えます。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記

入ください)

#### 展開教育科目（食品）

◆科目名：食品科学基礎実習 I

教員名：得字 圭彦

1. 授業担当回数：6回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

TA に対する不満が多かったようなので、今後は実習前の教育を十分行いたいと思う。実習の期末試験は、レポートではなかなかわからない理解度を測るものとして重要であるため、今後も継続するつもりである。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

とくになし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

TA に対する不満が多かったようなので、今後は実習前の教育を十分行いたいと思う

◆科目名：食品科学基礎実習 I

教員名：福田 健二

1. 授業担当回数：1回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

コメントなし

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

コメントなし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

コメントなし

◆科目名：食品科学基礎実習 I

教員名：大和田 琢二

1. 授業担当回数：6回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

授業内容の説明方法を見直し、学生の理解が進むように努めたいと思います。また、配布資料の改善も必要に応じて行いたいと思っています。TA も学びながら一生懸命やってくれています。また、教員は出張や会議等でやむを得ず TA に委ねることもありますので、理解してほしいと思います。授業中に不必要にスマホを見ることのないように心がけてほしいです。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください)

配布資料の内容や文言等を全面的に改善しました。また、実習室が広いので、説明する時は部屋の間で話すようにしてみました。時間配分も工夫してみました。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください)

実習内容の理解が進むように、またスムーズに進められるように、学生の様子をよく見ながら進めたいと思います。TA との事前打ち合わせと実験準備などのやり方は今まで通り維持したいと思います。

◆科目名：酵素化学

教員名：大和田 琢二

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

予習や復習を進めやすいように、まとめなどの利用を更に工夫してみたいと思います。また、授業全体のスピードもなるべくバランスが取れるようにしながら、要点の把握と理解が進むように努めたいと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

スライドを印刷して配布していますが、設けた空欄と文字を少し大き目に設定しました。また、なるべくスライドの文字を減らす工夫と、まとめの内容の簡素化を行いました。話し方はいつも気を使っていますが、学生の理解の様子を見ながら進めました。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

学生の理解が進み積極的に取り組めるように、内容の改善を進めたいと思います。スライドの文言はなるべく大きく、かつ簡単にして、板書と組み合わせる内容を改善したいと思います。クイズに回答する時間を設けるなど、一方的な講義ではなく、学生からのアクションを取り入れた授業にしたいと考えています。

◆科目名：応用微生物学

教員名：大和田 琢二

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

予習と復習に積極的に取り組めるように、授業のまとめの利用を更に工夫してみたいと思います。また、授業全体のバランスをとりながら、もう少し内容を精査して絞り込み、理解度が高くなるように努めたいと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

スライドの文字を減らし、大きめにしてみました。また、配布プリントの空欄も大きめに改善しました。話し方はいつも気を使っていますが、学生の理解の様子を見ながら進めました。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

学生の理解が進み、授業に対して積極的に取り組めるように、授業内容を更に改善して行きたいと思います。スライドの文言はなるべく減らすとともに文字サイズを大きくし、板書と合わせて内容を改善したいと思います。特に、クイズに対する回答時間を設定するなど、学生からのアクションを取り入れる授業に取り組みたいと思っています。

◆科目名：応用分析化学

教員名：福田 健二

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

配布資料を改善したいと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

コメントなし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

学生の発言を促す場面を今まで以上に多く作っていきたいと考えています。

◆科目名：遺伝子工学

教員名：得字 圭彦

1. 授業担当回数：9回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

スライドがわかりやすいとのコメントありがとうございます。若干難しい内容と感じられた部分もあったようですので、わかりやすく改善するつもりです。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

スライドの文字を多すぎないように工夫した。写真や図を多用して明解にわかるように工夫した。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

難易度の微調整を行う。

◆科目名：遺伝子工学

教員名：韓 圭鎬

1. 授業担当回数：3回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学生が指摘したように、熱心にしなければならないと考えている。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

印刷物を配布しているが、見やすいスライドをつくる。また、教科書を中心に授業を進めるように努力する。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

課題やレポートなどの手段を利用して学生の理解度を高める授業を行う。

◆科目名：農産資源利用学

教員名：山内 宏昭

1. 授業担当回数：5回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学生の授業評価は概ね良好であった。今後も、学生が興味を持ち、学習意欲が向上する様講義内容の改善に継続的に努力するつもりである。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）



◆科目名：酪農資源化学

教員名：福田 健二

1. 授業担当回数：1回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

分かりやすいスライド作りを心掛けたと思います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

コメントなし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

コメントなし

展開教育科目（経済）

◆科目名：農業経済学実習Ⅱ

教員名：仙北谷 康

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

学生の自主性を重視する実習なので、学生によって作業量に多寡が生じている。作業分担を見直すなどして学生間の作業量の不公平感を無くしたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

できるだけ前半から作業をすすめるようにした。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

できるだけ早めに作業をこなすようにしたが、やはり前半に比べて後半の作業量が多かった。できるだけ余裕を持って報告にたどり着けるよう、早め早めに作業をこなすようなスケジュール管理が必要だといえる。

◆科目名：農企業会計学

教員名：河野 洋一

1. 授業担当回数：15回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

会計学という講義の特性上、アクティブラーニングや実習形式での授業運営が難しい。また、履修する学生の会計学や簿記塔に関するレベル（ここでのレベルとは学力の差ということではなく、高校で既に簿記を学んでいたり、自主的に簿記検定を取得している学生とその他の学生という意味）に差が大きく、学生の理解度が必ずしも同程度で推移することはないと思う。これらについて授業中に理解できない箇所については授業時間外での対応を行ったため、試験結果をみるとほぼ全ての学生が一定程度の理解をしたものと認識している。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

授業開始時に資格取得を目指した授業と会計学の知識を深めるための授業のどちらに興味があるかを調査し、学生の農企業会計学に対して求めている授業内容に適宜修正しながら授業を実施した。また、会計学という授業の特性上、実習・実技、実験塔の時間を確保できないため、課題に対し

てグループで取り組ませるような内容の授業を数時間確保した。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

特になし

#### 展開教育科目（工学）

##### ◆科目名：農業システム工学実習

教員名：宮竹 史仁

1. 授業担当回数：2回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

当方担当授業（2回）については、次年度も農作物を保存するために必要な乾燥の理論や農業機械が耕起などで実際に触れる土壌の構造をより深く理解できるための実習を行います。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

自作テキストを使用し、農作物の乾燥理論や土壌構造を深く理解できる実習を行っています。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

来年度も、農作物と乾燥との関係性、農業機械と土壌構造の関係性について、テキストを使用しながら、より分かりやすい実習を行いたいと思います。

#### 展開教育科目（植物）

##### ◆科目名：植物生産学実習 I

教員名：春日 純

1. 授業担当回数：2回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

補講の案内や担当教員が変わった時の授業の連絡が少し急であったとのコメントがあったが、本実習は屋外活動が多く天候にも左右されるため、連絡が遅くならざるを得ないことも有る。しかし、早く出せる案内についてはできるだけ早く出すようにしていきたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

特になし。

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

本実習で育てたバレイショやコムギ、イネの一部は、後期の植物生産学実習の一部で実験材料として使う。本実習内でも、後期の実習とのつながりを伝えるよう心掛け、二つの実習の関連性の理解を促していきたい。

##### ◆科目名：植物生産学実習 I

教員名：筒木 潔

1. 授業担当回数：2回
2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

とくになし

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

とくになし

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

とくになし

◆科目名：植物生産学実習 I

教員名：谷 昌幸

1. 授業担当回数：2回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

実習の内容に関する予習課題を提示することを取り入れたい。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）

◆科目名：植物生産学実習 I

教員名：秋本 正博

1. 授業担当回数：4回

2. 結果に対するコメントと学生へのフィードバック

本実習は、複数の教員が担当している。そのため、アンケート結果からは自分が担当した回についての正確な評価をうかがい知ることはできないが、学生による授業評価の結果では、内容、難易度、分かりやすさなどの点において軒並み高い評価を受けた。また、教員の熱意が伝わってきたなどの点についてもおよそ8割以上の学生から「そう思う」以上の評価を受けた。本実習は受講生にとっておおむね満足のいくものであったと考えている。一方で、学生か

らの自由記述によるコメントに、「補講や担当教員が変わったときの連絡が急であった」というものがあった。本年度は実習期間中の気象条件が悪かったため、急な降雨などで実習直前に予定を変更しなければならない事態がたびたび発生した。その際の学生への連絡が急であったことは確かである。今後の実習においてはこのような事態に対する対策を十分に検討する必要があると考えている。

3. 授業改善の状況（昨年度の授業評価アンケートの結果を受けて、今年度に工夫・改善した点等があればご記入ください）

4. 授業改善の計画（来年度の授業に向けて維持・改善したい点等があればご記入ください）